

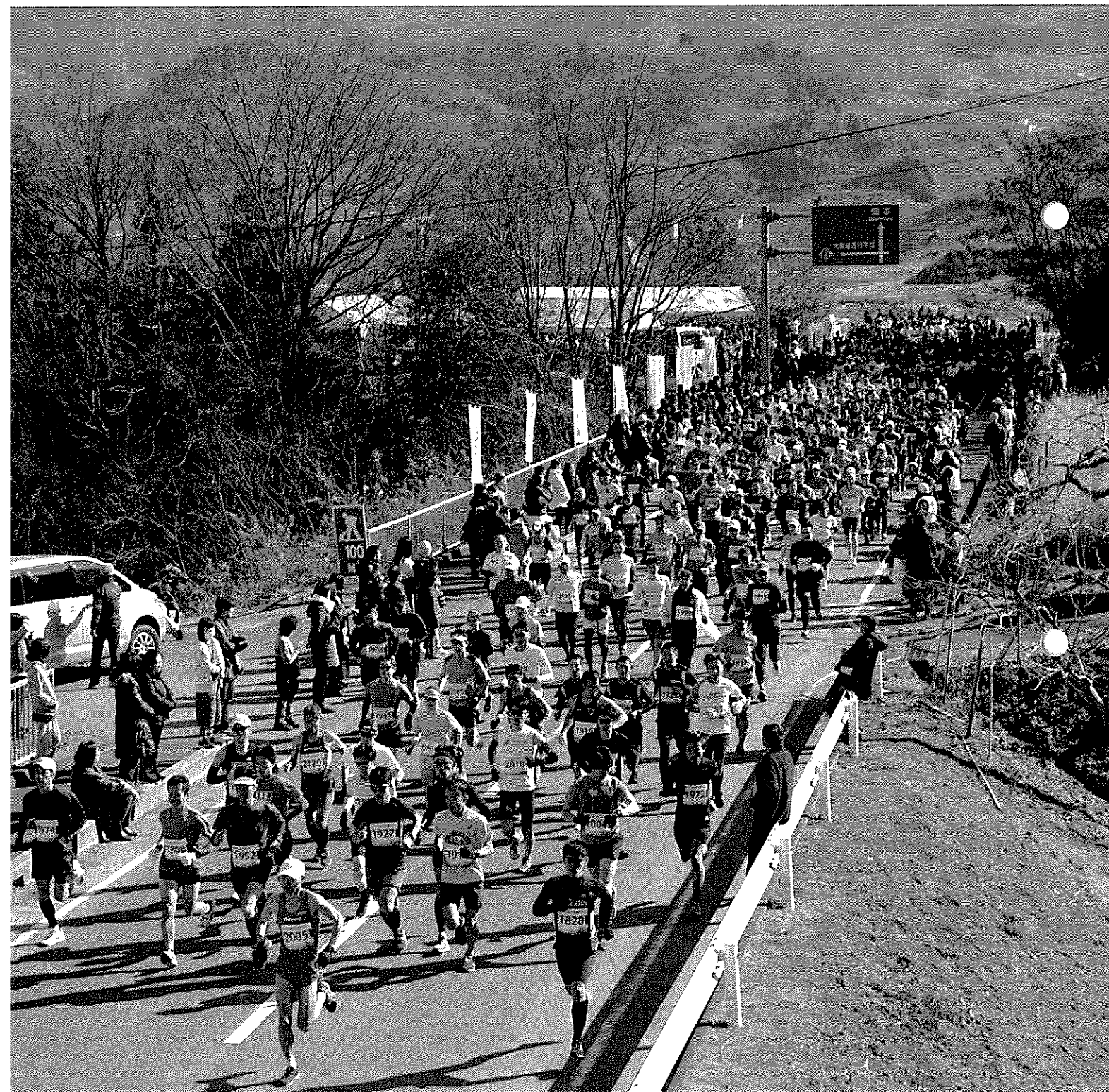
広 報

くどやま

2020

3 月号

No.533



第12回九度山世界遺産マラソン

第12回九度山世界遺産マラソン

約800名の選手が世界遺産のまちを走る



▲スタートの号令で一斉に走り出す選手たち

1月19日、紀の川フルマラソンをコースにした「第12回九度山世界遺産マラソン」が開催され、一般の部（5km）をはじめ一般ハーフマラソン、小・中学生男女の部あわせて12の種目で、小学生から大人まで、町内・外から多くの選手が出場しました。

開会式は、ふるさとセンター前で行われ、町長をはじめ来賓の方々から選手の皆さんへ激励の言葉が贈られました。

開会式終了後、選手の皆さんはマラソンコースに移動し、午前10時30分からスタートの号令にあわせて、種目別にスタートし、元氣よく、世界遺産のまちを快走しました。また、見物人や家族からたくさんの声援が送られていました。



▲ふるさとセンター前で行われた開会式



▲ゴールを目指し力走する選手たち
今大会は、コースが変更となり、昨年5月から通行可能となった「九度山柿の郷大橋」をランナーたちが駆け抜けました



▲一般男子ハーフマラソン優勝の新田大喜さん タイム 1時間18分21秒

第12回九度山世界遺産マラソン入賞者

※一般の部の受賞者は、1位のみ掲載
（敬称略）

●小学1・2年生			●一般		
男子（1km）	1位	渡辺 侑紀	男子（5km）	1位	前田 竜希
2位	池田 都禾		（高校生）	22歳	
3位	佐々木 駿一		1位	前田 賢二	
女子（1km）	1位	山口 南々夏	2位	前田 賢二	
2位	山口 南々夏		3位	前田 賢二	
3位	山口 南々夏				
●小学3・4年生			●一般		
男子（2km）	1位	楠 公博	男子（5km）	1位	前田 竜希
2位	芋生 太賀		（高校生）	22歳	
3位	大谷 哲平		1位	前田 賢二	
女子（2km）	1位	菜乃 莉紗子	2位	前田 賢二	
2位	川上 希愛		3位	前田 賢二	
3位	田村 希愛				
●小学5・6年生			●一般		
男子（2km）	1位	田村 海斗	男子（5km）	1位	前田 竜希
2位	渡辺 敦紀		（高校生）	22歳	
3位	渡辺 敦紀		1位	前田 賢二	
女子（2km）	1位	佐々木 奏空	2位	前田 賢二	
2位	佐々木 奏空		3位	前田 賢二	
3位	佐々木 奏空				
●中学生			●一般		
男子（3km）	1位	田中 沢歩	男子（5km）	1位	前田 竜希
2位	井関 翔真		（高校生）	22歳	
3位	老岐 翼		1位	前田 賢二	
女子（2km）	1位	山本 百華	2位	前田 賢二	
2位	山本 百華		3位	前田 賢二	
3位	山本 百華				
●小学生			●一般		
男子（3km）	1位	田中 沢歩	男子（5km）	1位	前田 竜希
2位	井関 翔真		（高校生）	22歳	
3位	老岐 翼		1位	前田 賢二	
女子（2km）	1位	山本 百華	2位	前田 賢二	
2位	山本 百華		3位	前田 賢二	
3位	山本 百華				





▲そば打ちを体験の様子（ゆきむら夢工房）。体験後、自分で打ったそばをいただきました。

楽しい思い出がたくさんできました！



▲上田城や真田氏歴史館を見学し、歴史を学びました。

自慢の歌声を披露～町民カラオケ大会～

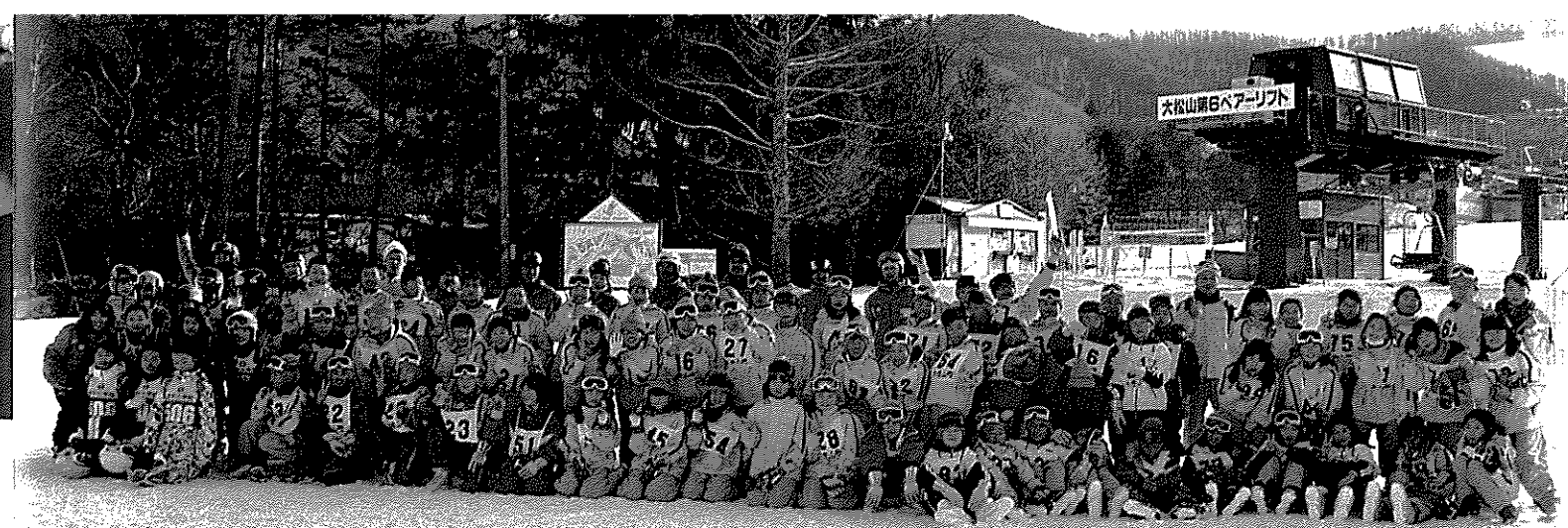
2月8日、今年で第34回目となる「町民カラオケ大会」が中央公民館において盛大に開催されました。

日ごろの成果を披露しようと町内の各分館などから47組54人が参加し、演歌から最新曲まで多彩な楽曲を熱唱しました。歌い終わるたび、会場を埋めつくした約150人の聴衆から大きな拍手がおくられ、楽しいひとときを過ごしました。



◆お詫びと訂正◆

広報くどやま2月号において、次の誤りがありましたので、お詫びして訂正させていただきます。
4ページ目 統計功労者表彰の記事内（誤）前田政広さん、前田正弘さん → （正）前田政宏さん



第11回姉妹市町児童間交流（スキー交流）事業 「長野県上田市にて」



1月9日から2泊3日の日程で、町内の小学校5・6年生66名が長野県上田市を訪れ、上田市立菅平小学校5・6年生14名と菅平高原パインビークススキー場でスキー交流を行いました。
九度山町の児童のほとんどはスキーをするのが初めてでしたが、スキー学校のインストラクターと菅平小学校児童による指導のおかげでみるみる上達し、広いゲレンデを楽しそうに滑っていました。
また、ゆきむら夢工房で信州名物の「そば打ち」に挑戦したり、上田城や真田氏歴史館を見学したりして、楽しい思い出をたくさん作って帰ってきました。



九度山・真田ミュージアム企画展

「兜 一戦いのデザイナー」は、～3月29日（日）まで

近年、真田幸村をはじめとした戦国武将や武家文化が注目を集めるなか、武士にとって不可欠な「兜」や「面頬」や「籠手」などの武具は、戦場における機能性を備えた実用品として使われるなかで、デザインや技術的にも進歩し、防御性・機動性・生産性をさらに向上させたものへと発展していきました。そして、武具は、各時代における金属加工・漆工・革工・木工・染織等の技術の粋を集めた美術工芸品でもありました。

現在、これらは、日本の文化の象徴として、また歴史的に価値のあるものとして海外からも高い評価がなされ、武具への関心が高まっています。

このことから、一般社団法人日本甲冑武具研究保存会近畿支部の皆様方のご協力を得て1年を6期に分け、2ヶ月ごとに展示替えを行いながら1年間、兜を中心に約70点の武具を展示紹介してきました。

展示品から室町時代、桃山時代を経て江戸時代の武士の歴史と文化、それを支えた甲冑氏達の技と美も併せて見ていただくことができました。

いずれも日本の職人たちのものづくりの凄さが見てとれるものでした。

来館者からは、「展示されている兜をじっくり見ていると鉄ばかりではなく、革のものもあったりして、少しずつ構造が違っている。そこから歴史も感じられる。」「兜は、質素堅牢で重厚かつ力強いものもあったり変わり兜もあったりして楽しく拝見させていただきました。」「旗指物も金字で名前を表したり、縫い目も等間隔で、こうした武具一つひとつにも美意識や武士の生きるか死ぬかの思いが見てとれる。」「兜や籠手にも装飾を施したり金を使ったりしている。これらの武具が用途や目的にあわせて当時の最適の材料が使われ作られていたことが見てとれる。いずれもそれぞれの職人の技が光る名品です。日本人のものづくりのすごさが見てとれる。正に武具は、日本人が世界に誇れる文化遺産だと分かりました。」などと笑顔で話していただくことができました。

今回の企画展開催には、一般社団法人日本甲冑武具研究保存会近畿支部の皆様方に、大変お世話になりました。紙面にて厚く御礼申し上げます。今後、同支部と皆様方のご活躍をご祈念申し上げます。

引き続き本企画展での展示品の解説や兜の見方（図解と用語解説）をまとめた図録（税込1冊1,500円）を販売しています。



▲展示品図録

■令和2年度企画展は、「火縄銃展」と「刀剣展」を開催します。

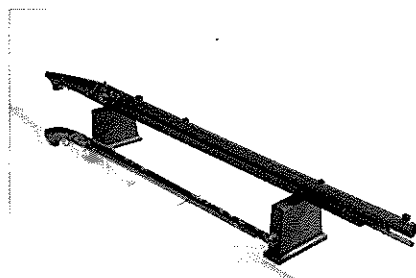
来年度の企画展は、4月3日（金）より「火縄銃展」と夏期に「刀剣展」を開催する計画です。

「火縄銃展」では、砲術研究家である澤田平氏の協力を得て、収集された貴重なコレクションの中から、真田幸村関連コレクションを含む数多くの火縄銃を展示紹介します。

「刀剣展」では、全日本刀匠会近畿地方支部の皆様方の協力を得て、現代刀匠達が鍛え上げた日本刀の数々や日本美術刀剣保存協会和歌山県支部の皆様方の協力を得て、紀州ゆかりの貴重な刀剣など数々の名品を展示紹介します。

本企画展では、小中学生や家族づれの方々にも楽しめるよう「輪ゴム銃体験」や「刀匠による銘切り」もありますので、ご期待のうえ多数ご来館ください。お待ちしております。

詳しくは、4月号町広報で紹介します。



▲慶長大鉄砲

■常設展示の真田伝説や十勇士伝説コーナーでは、今年度新しく収集しました真田幸村関係の錦絵3枚と歴史史料3冊を展示紹介しています。

錦絵（3枚）

- ・『大日本史略圖會』から八十六 大坂の戦ひに真田幸村
徳川家康を刺んと覗ふ（明治22年）
- ・『太平記英勇傳 花田左衛門尉 滋野雪村』（慶応3年）
- ・『一魁随筆 真田左衛門尉幸村』（明治5年）

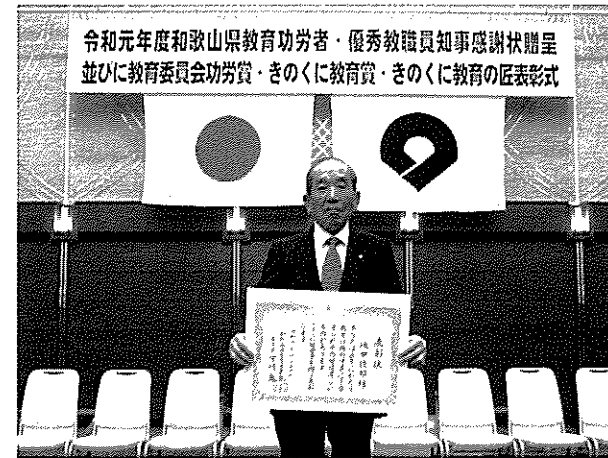
歴史史料（3冊）

- ・『繪本真田三代記』（明治22年）
- ・『繪本実録真田三代記』（明治23年）
- ・講談本『真田家三勇士 霧隠才藏』（明治43年）



和歌山県教育委員会功労賞を受賞

1月16日、嶋田俊昭九度山町教育委員会委員が、本町の教育の充実、発展と振興に献身的に尽力した功績により、和歌山県教育委員会功労賞（教育行政部門）を受賞されました。長年のご貢献に感謝を申し上げますとともに、受賞をお喜びいたします。



▲嶋田俊昭さん

和歌山県優秀教職員知事感謝状を受賞

1月16日に和歌山県教育功労賞表彰式が行われ、九度山小学校の綿田綾子教諭が、特別支援コーディネーターとして、特別な支援を必要とする児童に対する支援体制づくりや教員の特別支援教育に対する意識向上に寄与するなど、本県学校教育の振興に貢献した功績により和歌山県優秀教職員知事感謝状を受賞されました。

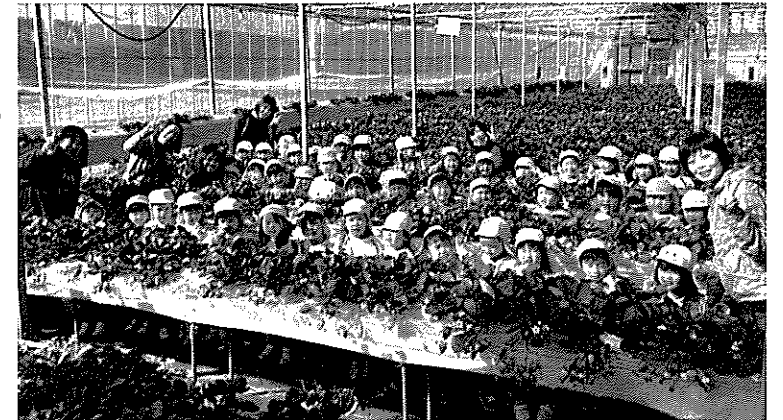


▲綿田綾子さん

保育所園児が九度山いちごを楽しみました。

2月4日、43名の九度山保育所園児たちが、「奥いちご農園」を訪れ、いちご狩り体験を行いました。

鮮やかな紅色をした「紅ほっぺ」や和歌山生まれの「まりひめ」などの品種があり、園児たちは時間の許す限りいちご狩りを楽しみ、九度山いちごを味わいました。



▲最後に記念写真を撮りました。

◀▼いちご狩りを楽しむ園児たち



エアロビクス大会で優秀な成績

1月19日に静岡県袋井市のエコパアリーナにおいて「第15回JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権大会 in 袋井2020」が開催され、ジュニアトリオ部門で、嶋田有彩さん(九度山小学校4年)、永吉叶愛さん、井ノ下虹恋さんのトリオが3位入賞を果たしました。

写真左から井ノ下さん、永吉さん、嶋田さん▶



九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

12月7日に和歌山県立橋本体育館と九度山町立文化スポーツセンターで第21回伊都地方中学生選抜ソフトテニスインドア大会が開催され優秀な成績を収めました。(敬称略)

- 男子の部 第3位 木上 漣(5年)・海堀 大翔(5年) ペア
第5位 中邑 夢弥(4年)・宮下 光希(6年) ペア
〃 福岡 直翔(6年)・中西 温映(6年) ペア



12月14日～12月15日に和歌山市つつじが丘テニスコートで第23回近畿小学生選抜インドアソフトテニス大会が開催され、県代表の一員として優秀な成績を収めました。

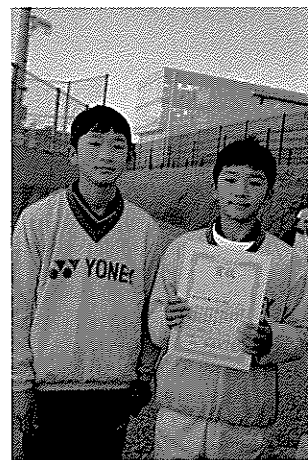
○団体戦 男子の部

準優勝 和歌山県Aチーム 正野 貴之(6年)、宮下 光希(6年)

12月25日～12月27日に埼玉県熊谷スポーツ文化公園内の彩の国くまがやドームで第18回KENKO CUP全国ジュニアソフトテニス大会が開催され、3ペアによる団体戦が開催され、県代表の一員として優秀な成績を収めました。

○男子の部

第3位 和歌山県選抜Aチーム 正野 貴之(6年)、宮下 光希(6年)



柔道大会で優秀な成績

1月19日、講道館において、第42回全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会が開催され、本町出身の海堀陽弥さん(日本体育大学荏原高等学校2年)が無差別級で優勝しました。海堀さんは3月21日(土)に群馬県のALSOKぐんまアリーナで行われる全国大会に出場します。

